

## 部落解放

# 第62回滋賀県女性のつどいを開催しました

11月8日(土) 県内各地から竜王町公民館に234名の参加者が集まりました。

## 日時・会場

日時 2025年11月8日(土)  
13:00 開会(受付 12:30)  
16:00 閉会

会場 竜王町公民館 ホール  
竜王町大字小口276-1

## 内容

- ・ オープニング「和太鼓演奏」  
和太鼓衆“当為”
- ・ 開会行事・基調提案
- ・ 記念講演「一緒に考えるということ～私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか～」  
講師:(公財)とよなか国際交流協会事業主任 三木幸美さん
- ・ 意見交流
- ・ まとめ・閉会

オープニングのようす 和太鼓演奏 和太鼓衆“当為”



「当為」とは、そうあるはずのことをそのようにすべきこと、誰もが差別されず安心して生きていける当たり前の社会を作ろうという意味です。  
当為では、「部落差別をはじめとする差別をなくそうとする解放の想い」を、「音」に託してより多くの人々の心に響くよう、広野町から発信しています。



開会行事のようす



【実行委員長あいさつ】  
辻 有里 さん  
(自治労滋賀県本部)



【主催団体代表あいさつ】  
丸本 千悟 さん  
(部落解放同盟滋賀県連合会)



【来賓あいさつ】  
小林 祥久 さん  
(滋賀県教育委員会人権教育課)



【基調提案】副実行委員長  
田中かよ子 さん  
(部落解放同盟滋賀県連合会)

## 記念講演のようす



一緒に考えるということ～私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか～  
講師 三木幸美さん（公財）とよなか国際交流協会

## 意見交流のようす



参加者のみなさまにご協力いただいたアンケートでは、90%を超える方から、『大変良かった』・『よかった』とのご回答をいただきました。参加者の声を一部ですが、紹介します。

（オープニングについて）

○小さな子どもたちが元気いっぱいかわいかったです。太鼓の演奏は、心に響いて素晴らしかったです。

○心と腹に響く音でした。当為というチーム名もとてもよいですね。

○子どもと大人が差別をなくそうと取り組んでいる姿が感じられた。世代つながって取組を進められていて、自分は何をしていけるだろうかと改めて思いました。

○小さいお子様の登場かわいい！！よく走ったね。演奏中の体をゆさぶる姿めっちゃいい！！当為の思いが響きと共に伝わってきます。みんなで部落解放に向け頑張りましょう。

（記念講演について）

○普段は部落差別について考える機会は少ないが、相手の思いを聞き、どう感じているかをしっかり受け止めるべきだと感じた。

○「あなたのことを知りたい」という姿勢を持つこと。そのことを私も大切にして自分の人生のよい選択ができるようにしたいです。

○家族に外国人がいます。今日話を聴いて、知ることの大切さを知り、今までは、とても無知であったと思いました。

○無知ゆえの加害側にまわっていた罪悪感、恥ずかしさというのは、自分も経験がありました。そこを糧にして、成長できている面もあると今日のご講演でポジティブに転換できました。ありがとうございました。

○仕事をやめて、人権の研修をしていなかったのも、マイノリティや差別における現状等が学べた。言葉や心の壁に対するなくされない現状も知った。それで自分にすることは何か考える機会になりました。

○考えることが必要。このようなお話を聴くことで、傍観者にならず考える機会をいただきました。自分の考え方をアップデートしていきたいです。

○同意しないという意思表示。学んだことを家族に話していきたい。

○知り続ける、学び続ける、会話し続ける大切さをしみじみ感じました。

#### 意見交流について

○隣の人と会話できたし、初めての出会いであっても親しみを感じた。

○グループでの話がざっくばらんにできてよかった。

○グループワークする中で、人のことを偏見で考えるのは良くないと思った。

○意見交流は大切だと思います。

#### その他

○家へ帰ったらまず家族に、月曜には職場で、今日のこの“つどい”に参加した内容を話していきます。

○「熱」を大切に私たちの社会を創りあげよう。

○また参加します。

○日々忙しい仕事でなかなかお話を聞くことがなかったので、今回の講演を聞いてパワーをもらいました。これからも引き続き人権を大切にやっていきたいです。

○次回も参加したいと思いました。多くの人にも参加してもらいたいと思いました。

○おかしいと思ったことは自信をもって発信していきたい。勇気をもって取り組みたい。

## 2026年の日時・会場は未定です。

### (決まり次第、ホームページでお知らせします)

感想からもお分かりいただけるかと思いますが、女性が参加しやすいつどいです。

県内の女性団体が主体となる実行委員会で準備を進めていきます。**部落差別や女性差別の現実から学び、その学びを部落解放や女性の人権確立に向けた「行動」に移すことをめざしています。**つどいの後半には、思いを気楽に話せる場を設けています。

♥ イベント名は「女性のつどい」ですが、性別によらず、誰でも参加できます。今年は、男性の参加が増えました。来年も、男性の積極的な参加をお待ちしています。参加費は無料です。

(詳細は滋賀県人権センターHP、チラシなどでお知らせします。)